

第7次豊川市総合計画策定における課題とまちづくりの方向性

豊川市の課題		※丸数字はまちづくりの方向性との対応 関係を表す	
Ⅰ 社会情勢			
・少子高齢化と人口減少の進行 ・災害の頻発化と激甚化 ・環境問題に対する世界的な気運の高まり ・子ども・若者を取り巻く状況の変化 ・地域経済を取り巻く社会情勢の変化 ・共生社会づくりの重要性 ・デジタル・トランスフォーメーション（DX）の加速化 ・社会インフラの老朽化		→①②③④⑤⑥⑦ →① →① →②③⑤ →⑥ →⑦ →⑦ →④⑦	
Ⅱ 市民意識調査 ※重要度が上昇し、満足度が低下した施策			
・生涯学習の推進 ・人権啓発の推進		→⑤ →⑦ ・男女共同参画の推進 →⑦	
Ⅲ 市民の意見			
【団体アンケート】 ・住み続けたいまちに必要な取組…子育て支援→②、公共交通の充実→④、 地域のつながり→⑦ ・訪れたいまちに必要な取組 …交通便利性の向上→④、観光振興→⑥、情報発信→⑦ 【企業アンケート】 ・市の取組の重要度…防災対策→①、道路交通網の充実→④、産業振興→⑥、 福祉の充実→③ ・労働力確保に向けた人口増加 【小中学生アンケート】 ・市のよくないところ…災害に対する不安→①、都会的な施設がない→⑥ ・将来市に住みたいと思わない理由…遠方への進学・就職→②⑥ ・将来市で働きたいか…半数近くが「分からない」を選択→②⑥ 【若者ワークショップ】（ざんねんな点） ・地元の企業を知らない →⑥ ・豊川にしかないものがない→⑥ 【まちづくり市民ヒアリング】 ・地域の人や物を活かす視点 ・包括的支援の視点 ・情報共有・発信の視点 ・若者が交流できる機会が少ない→② ・観光のアピールが足りていない→⑥ ・庁内外での協働・連携の視点 ・理解・交流を深める視点 ・「選択と集中」の視点			
Ⅳ 前計画の自己評価 ※目標値が未達成（達成度C・D）			
【安心・安全】 →① ・「防犯対策」市民満足度 ・救急車の平均到着時間 ・自然環境をテーマにした講座の年間参加延べ人数 ・市民1人1日当たりごみ排出量（家庭ごみ） 【健康・福祉】 →②③ ・健康の維持や増進のための心掛けを特に何もしていない市民の割合 ・合計特殊出生率 ・60歳以上で生涯学習をしている人の割合 ・65歳未満の障害福祉サービ等の利用率 【建設・整備】 →④ ・コミュニティバス利用者数 【教育・文化】 →②⑤ ・「学校と関わりを持っていきたい」と思っている市民の割合 ・「学校給食」児童・生徒満足度 ・生涯学習活動を行っている市民の割合 ・プラネタリウムの入場者数 ・週1回以上スポーツや運動をしている市民の割合 ・体育施設の利用者数 ・「文化芸術の振興」市民満足度 ・文化芸術活動をしている市民の割合 【産業・雇用】 →⑥ ・店舗等の事業所数 ・年間観光入込客数 【地域・行政】 →⑦ ・議会だよりを概ね読んでいる市民の割合 ・耐震性のある住宅の割合 ・市民による応急手当の実施率 ・ごみの資源化率 ・子育てを前向きに捉える親の割合 ・生活困窮者からの面接相談件数 ・市道の改良率 ・学校体育施設開放の利用者数 ・文化施設の利用者数 ・中心市街地の通行量 ・就労促進に関する事業への参加者数 ・自主財源比率			

まちづくりの方向性	
①安全で快適な生活環境が整っている	➡
②子どもや若者が未来に夢や希望を描いている	
③誰もが健やかに生き生きと暮らしている	➡
④住み心地よい、訪れやすい都市環境が整っている	
⑤あらゆる世代の人が豊かな心を育んでいる	➡
⑥魅力と活力があふれている	
⑦地域と行政がしっかりと支えている	➡

まちづくりの推進施策	
・交通安全対策の強化 ・防災対策の強化 ・環境保全と生活衛生の向上 ・生活排水対策の推進	・防犯対策の強化 ・消防救急体制の充実 ・ごみの適正処理の推進 ・水道水の安定供給
・子育て支援の充実 ・若者支援の推進	・青少年健全育成の推進
・健康づくりの推進 ・高齢者福祉の推進 ・地域福祉の推進	・地域医療体制の充実 ・障害者福祉の推進
・住環境の整備 ・道路交通網の充実	・コンパクトシティの推進 ・緑や憩いの空間の充実
・学校教育環境の充実 ・スポーツの振興	・生涯学習の推進 ・文化芸術の振興
・農業の振興 ・商業の振興 ・中心市街地の活性化	・工業の振興 ・雇用の安定と勤労者支援の充実 ・観光の振興
・コミュニティ活動・市民活動の推進 ・人権尊重の推進 ・情報発信と広聴の推進 ・地域DXの推進	・男女共同参画の推進 ・多文化共生の推進 ・公共施設の適正配置と長寿命化の推進 ・持続可能な行財政運営の推進